

- 1 履修単位数 4 単位
 2 実施日時 平成 29 年 6 月 28 日（水） 第 4 時限
 3 学級 103HR（35名）
 4 使用教科書 東京書籍 新編 国語総合
 5 単元（題材）名 小説の基礎的な読解を深める（小説1 触れ合う心『とんかつ』）
 6 単元設定の理由

本学級の生徒は、四年制大学工学部系への進学希望者が数名在籍しているが、就職希望者が大半であり、ものづくりや理系教科の学習に力を注いでいる。そのためか、文章を読むことに対して苦手意識をもつ生徒が少なくない。また、新入生テストの結果から、心情の理解など小説の読解に課題があることが明らかになった。しかし、人間が直接的に体験できることは実に限られており、読書体験を積むことで、人間や社会について理解を深めることができる。読書の効用を考えれば、主体的に読書に親しむ態度を身に付けさせたいものである。本単元は、高校生になって初めての小説作品であるが、作中の少年が生徒たちと同じ年であり、共感を呼びやすいものと思われる。さらに、読解の基本を学ぶことができ、小説を読むことの面白さを味わえるという可能性を秘めた作品である。叙述に従って人物像を的確に把握し、人物の心情の変化を読み取り、最終的には主題に迫るといふ、分析的で深い学びを通して、小説作品の読解の基本を身につけさせ、主体的に読書に親しむきっかけづくりをしたいと考えている。

7 単元の目標 領域【読むこと】

- 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わおうとしている。
（関心・意欲・態度）
- 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。
（読む能力「C 読むこと」の（1）のウ）
- 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにしている。
（〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の（1）のイの（イ））

8 取り上げる言語活動（学習活動）

班ごとに異なるテーマについて調べたりまとめたりした内容を発表することで情報を共有し、それらを総合して作品の主題を読み解くこと。
（「C 読むこと」の（2）のイ）

9 単元の評価規準

- A 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。
（関心・意欲・態度）
- B 文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。
（読む能力）
- C 読むことに必要な文章の組立て、語句の意味について理解している。
（知識・理解）
- 10 指導計画

次	学習活動	評価の規準と方法
第1次 1時間	○読書の効用について理解した上で、全文を通読する。 ・朗読CDを聴き、小説を読み味わって、初読の感想と疑問点を記録する。段落分け、語句の意味、漢字の読みを確認する。	評価規準C 「記述の確認」
第2次 2時間	○第1段落を読み、登場人物の人物設定を確認する。 ・親子の情報を付箋に書き抜き、共通点や相違点を考えて模造紙にまとめて発表する。（グループ活動） ・語り手の存在や親子に対する見方の変化を確認する。	評価規準B 「行動の確認」
第3次 2時間	○第2段落を読み、親子の境遇と心情、女主人の心情を把握する。 ・親子の心情と女主人の心情の変化を時系列で表にまとめる。 ・母の「問わず語り」を読み、親子の境遇を簡潔に説明する。 （グループ活動）	評価規準B 「記述の分析」
第4次 2時間	○第3段落を読み、1年後に再会した場面での心情を理解する。 ・親子の変化からわかることをまとめる。（グループ活動） ・メニューの注文を巡って、母や女主人の心情を考える。	評価規準B 「記述の分析」
第5次 2時間	○主題について考える。（グループ活動） ・班ごとに異なる6つのテーマについて調べたりまとめたりしたことを模造紙にまとめる。 ・それを発表することで情報を共有し、6つの視点を持って、作者が描きたかったものについて、班ごとに考える。 （本時2/2）	評価規準A 「行動の分析」

1 1 本時の目標と評価規準

主題を読み解く際の手がかりとなる「6つの視点」について調べたりまとめたりしたことを、班ごとに発表することで情報を共有し、それらを総合して、作者が作品で描きたかったものについて考えを深めている。
(読む能力)

1 2 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体的評価規準と実際	評価 方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標を確認し、学習課題をつかむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標が徹底できるよう目標を板書する。 		
展開 40分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">1, 班ごとに発表を行う。</div> <ul style="list-style-type: none"> 班別に異なるテーマで調べたりまとめたりしたことについて、模造紙を提示し説明する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">2, 班で主題を考える。</div> <ul style="list-style-type: none"> 班別の発表内容を「6つの視点」として、これらの情報を参考に、主題をまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">3, 考えた主題について、班ごとに発表する。</div>	<ul style="list-style-type: none"> 主題を読み解く際にその手がかりとなる6つのテーマについて、担当した班が要領よく発表する。 自分が担当したもの以外の、5つのテーマについての発表内容を、しっかりと聞いて適宜メモも取る。 「あらすじ」, 「少年・息子・須貝直太郎」, 「母親・須貝はるよ」, 「宿の女主人」, 「題名『とんかつ』」, 「作者と代表作, その作風」という6つの視点を手がかりにして、作者が作品で描きたかったものは何か、考えを深める。 班ごとにホワイトボードに考えを記入させる。 ホワイトボードを使い、班内で出た考えを述べる。 	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;">Cの生徒への指導の手立て 親子や女主人の人物像と、題名, あらすじだけでなく、作者自身, 代表作の作風も大きな手がかりになることを知らせる。</div> <p>「読む能力」 <ul style="list-style-type: none"> 主題を読み解く際に手がかりとなる「6つの視点」を総合して、主題について考えを深めている。 </p>	行動の 分析
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> この單元では、小説の基礎的な読み方を習得したので、普段の読書に生かされるよう、伝える。 夏休みの宿題である読書感想文へとつなげるよう、呼びかける。 		